

NPO 法人

# 北見文連

会報 第6号

発行日：平成30年8月7日(火)

発行者：NPO法人北見文化連盟

理事長 平野 温美

事務局：北見市北4条東4丁目11-2

Tel.0157-22-0099

第3回通常総会開催

## 文化を芽吹く体制へ

専務理事、角田優氏就任

去る4月21日(土)、通常総会が開催されました。前年度の報告ならびに新年度計画の承認、定款による役員改選、そして新しく文連に加入された団体の紹介などを経て終了しました。

総会後の理事会で決まった主な役員として、平野温美理事長、大場稔康ならびに五十嵐礼子副理事長は留任。長谷文夫専務理事の勇退に伴い、後任の専務理事に角田

優前副理事長が、また渡辺清治理事が会計長理事として選出されました。須藤田鶴子監事は勇退されました。

全役員は次の通りです。今年度の行事はすでに役員・会員みなさまのご協力により順調に進んでいます。



平成30年度役員一覧(再任記載は省略)

理事長 平野温美(北見文学会)。副理事長 大場稔康(北見写真協会)。副理事長 五十嵐礼子(北見音楽団体協議会)。専務理事 角田優(北見市民謡協会) 新任。会計長 渡辺清治(オホーツク岳風会北見支部) 新任。(以下理事)塩浜郁夫(北見写真協会)。荒木洋子(グループ空)。田尾勢津子(踊翠流剣詩舞鶴双会)。今本一成(北見文学会)。金山真由美(北見書道連盟)。加藤幸子(清踊会)。高橋千恵美(北見市華道連盟)。松本美年子(オホーツク岳風会北見支部) 新任。



熱心に耳を傾ける受講者

第46回北見市民大学講座

## 多彩な分野の講師陣

延べ受講者約400名

市民の関心高い内容を企画し、五月の連休明けから二ヶ月間にわたって、五講座実施しました。多彩な専門分野の講師を招聘し、ご来場いただきました市民の受講生に対しての講座は大変有益で

した。市民大学講座開設にあたり、外部の方々に多大なご協力を頂きました。

第一講座及び第五講座は北見工大名誉教授常本先生、第三講座及び第四講座は道新北見支社鈴木報道部長様、第二講座は経済の伝書鳩寒河江編集長様、第五講座で守谷記念整形外科医院守谷院長先生有難うございました。



○第一講座《5月9日》

○演題 北海道EV(電気自動車)で切り開く未来とは

○講師(株)WILL・E代表取締役社長・北海道職業能力開発客員教授 根本英希氏、(株)倉本鉄工所代表取締役社長 倉本 真氏

寒冷地仕様のコンパクトEV(電気自動車) 開発に、道内のも

のづくり企業十社が連携して取組み、徐々にその成果を上げつつある。未来の夢を乗せた自動車の開発実用化に向けて試行錯誤しながら、一步一步前向きに進む若き技術者の姿に感動すると共に、その中に「まちのよろず鍛冶屋」銘打って、倉本鉄工所の若き

倉本社長さんも加わって活動されており北見市民の誇りです。



○第二講座《5月23日》星、見に行かない星々が織りなす温かな光の世界

○講師 北網圏文化センター学芸員 多田 成寿氏

街の中も街路灯が完備されてきて投光器具もLEDに替わり、夜でも明るくなり防犯上は良くなったのですが、夜空の星をゆっくり眺めるようなことが少なくなりました。

この講座では、北斗七星と北極星、春の第三角から色々な星座を見つけてることができる。また、太陽系の惑星の話と冥王星が太陽系の惑星から外された理由等、雄大な天体のロマンに魅了されました。改めて晴れた日に町外れの郊外から、夜空の星をじっくり眺め

たくなりました。北網圏文化センターでも、天体の様々な観望会があるようです。

○第三講座《6月6日》北海道を元気にするスポーツのチカラ

○講師 (株)テレビ北海道報道制作局副部長兼アナウンス課長 大藤晋司氏

はじめに「カーリングのための人生でなく、人生の中にカーリングがあるから笑顔でやれる」「この街でなかったら夢を叶えられなかった」とのカーリング選手の言葉を紹介し、選手達を暖かく支え応援した北見市民に感動し、スポーツは街のブランドになるこ



とも証明した。北海道は他のスポーツとの垣根が低いので、互いに協力して発展することができるので、北海道の未来が楽しみである。

○第四講座《6月20日》健康寿命を延ばそう運動と食事の大切さ

○講師 札幌医科大学付属病院医学部細胞生理学講座教授 當瀬規嗣氏

健康寿命とは、健康上の問題がない状態で日常生活を送れる期間。平均寿命と健康寿命の間には、男性で約九年、女性で約十三年の差がある。誰もが最後まで健康でいきいきとした生活を送るために健康寿命を延ばすことが大切。

生活習慣病の原因となる肥満・糖尿病・サルコペニアについて解りやすく解説。その予防策として食事は三食きちんと食べる。若年層で朝食を食べない人が増えてきて



いる。運動の習慣を付ける。

○第五講座《6月30日》どくとるまんぼう家の素顔〜元気でコッコツ生きるコッコ

○講師 サントリーコーポレートビジネス(株)交通営業部担当部長 齋藤 由香氏

どくとるまんぼう家(齋藤家)の楽しい話。厳格できまじめな祖父齋藤茂吉、海外の秘境八ヶ国を踏破し八十歳を過ぎてエベレストへ行くなど気骨ある祖母輝子、躁鬱

病で楽しい父芥川賞作家北杜夫等、どのようなことがあっても明るく前向きに生きているご家族の



第46回北見市民大 学講座を、多分野にわたって五講座実施し、市民の文化意識の向上を目指して、好評のうちに終了しました。が、八月以降も各文化団体が今日まで育んできた様々な伝統文化を支援していくことで、地域文化を豊かにしていく活動を展開していきま

第41回総合芸術祭

(第72回きたみ市民芸術祭)

○日時11月3日

○会場/北見市民会館○舞台部門(大ホール) ○お茶会(六号室、ホワイエ) ○展示部門、華道展(小ホール) ○絵手紙展・押花展・文芸展他(ホワイエ)

○美術展、日時10月16日〜22日

○書道・写真展10月23日〜28日(美

術展、書道写真展とも会場北網圏

姿に、受講者一同心が癒やされた。最後に、祖母輝子の対談(徹子の部屋)と遠藤周作と阿川弘之と父



昨年の総合芸術祭(北見市民謡協会)

第51回北見文化賞授賞式

○日時11月3日 午後6時

○場所 北見市民会館小ホール 永年にわたり地域文化の向上に貢献され、著しく功績が認められる個人及び団体を表彰致します。

新年交礼会及び第23回林白言文学賞授賞式

○日時平成31年1月19日(月)

場所 北見市民会館小ホール 当文化連盟の初代会長林白言

北杜夫のDVD放映があり、講師の話の雰囲気を感じることができた。

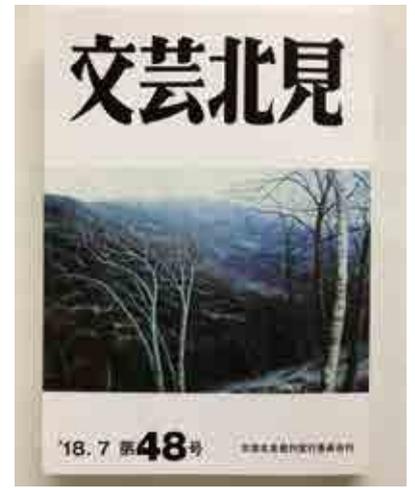
先生が、「落葉運動」と名付けた文化運動を継承発展のために設けられた文学賞である。



今年の林白言文学賞受賞者



北見文化賞授賞式の様子



掲載作品数は、百六十三人の作品六百九十一一点(創作十四編・随筆十一編・詩六編・短歌百九十首・俳句四百十五句・川柳五十五句)で二百四十六頁。オホーツク地域の代表的な文芸誌として八百部発行した。今回は、冬季オリンピックで銅メダルを獲得した「L S北

写真提供、経済の伝書鳩

見」を描いた『世界に羽ばたくL S北見』渡部功一氏などの作品がある。文化連盟事務所にて販売しています。書店販売は、福村書店・コーチャンフオー北見・網走市フジヤ書店に定価1250円にて販売中です。

# 冬芽の魂

NPO法人北見文化連盟文化団体の活動を支援し、地域文化向上のための事業を行っています。

※第一回おさらい会《オホーツク紅舞踊会》

○日時 4月8日(日)

○会場 北見市民会館小ホール

平成25年から慰問活動や歌謡舞踊の講演会などを行い、創立5周年を記念し開催。当日は、天候に恵まれ入場者が二百名を超えるなかで「川の流れのように」「千曲川」など全20曲の演目を披露した。



※同人誌「さいはてのふだん記八十一号」の発行《さいはてのふだん記グループ》

○日時 5月31日(木)

人生の体験や日常生活を書き綴った文集で、気楽に読んでもらうことで、書く人の輪を広げてい



くことに理解を深めていただくことを目標としている。

※第二回おさらい会《清踊会》

○日時 6月8日(金)

○会場 北見市民会館小ホール

会発足後、二回目となるおさらい会。九十歳を超えても若々しく出演する方や振付を間違えてもお客様に愛嬌を振る出演者などお客様との距離が近く、親しみがあつた。



※小刀禰博子オリジナルピアノコンサート〜優しい時間Ⅶ《音団協きたみ芸術市場》

○日時 6月22日(金)

○会場 北見芸術文化ホール

心に響く素敵なピアノの音色と、博子さんの楽しい語りで心が癒やされる、来場者一同「優しい時間」を過ぎた演奏会でした。ピアノソロ演奏ではじまり、特別出演として八幡映美さんのピアノ演奏に続きオペレッタの友情出演。バレエダンサー豊澤由紀子のバレエとピアノ共演もあり一層会場が盛り上がりました。



※第3ブロック吟道錬成大会《オホーツク岳風会北見支部》

○日時 6月24日(日)

○会場 北見市民会館小ホール

北見支部を3ブロックに分け、それぞれ吟道錬成大会を開催。日頃の練習の成果として少年部を始め会員の独吟、連吟、華道吟、詩舞吟、歌謡吟、構成吟、大谷幼稚園児の特別出吟等、様々なジャンルの吟を披露。多くの市民の観覧も得、盛会に開催。



※琴伝流大正琴琴萌会第28回発表会《音団協、琴伝流大正琴琴萌会》

○日時 7月1日(日)

○会場 北見芸術文化ホール

ホールいっぱい聴衆を沸かせる発表会でした。舞台は誰もが親

しむ音楽を情感豊かに次々と奏でる構成で、エネルギーが溢れている



ました。また子供たちの演奏に会場は大喜び。

※平成30年度「小さな親切」実行賞受賞《レイアロハフラ北見》

○日時 7月7日(土)

○会場 北見市民会館小ホール

第68回社会を明るくする運動「市民のつどい」にて、福祉施設にてフラダンスを披露する慰問活動を平成14年から行いその功績が認められた。

※いけばな子ども教室《華道家元池坊北見支部》

○日時 7月7日(土)  
○会場 北地区公民館2階  
次世代のこどもたちが伝統文化「いけばな」に触れる機会を作るために文化庁「伝統文化親子教室事業(こども教室)」の補助を受け実施。8月26日にはパラボ6階で花展を開催する。



※第33回敬翔会書道・篆刻展《北見書道連盟》

○日時 7月11日(水)～15日(日)

○会場 コミュニティプラザパラボ6階市民ギャラリー

池田敬岳さん(国際現代書道展審査会員) 主宰の同展示会は、全

国展の入選作を含めた100点を展示。会員の意力も目覚ましく大作作品もあり来場者を魅了していた。



※北見地区伝統文化子ども民謡教室《北見市民謡協会》

○日時 毎月第2・4(土曜日)

○会場 北見市常盤地区住民センター

次世代のこどもたちが伝統文化「民謡」に触れる機会を作るために平成30年度「伝統文化子ども教室」事業(北見市)の助成を受け実施し、11月の民謡歌謡チャリティーショーにて練習の成果を発表する。



※全日本写真連盟北見支部写真展  
《北見写真協会》

○日時 3月12日から通年

○会場 コミュニティプラザパラボ6階やさしい時間

初回到塩浜氏の作品(ホオズキ)を展示後、木村勝氏の作品(オホーツクの四季)を展示。順番に個展を行いどの様にして撮影したかなどをコメントに記載し写真愛好家の交流をする。

管内で初の国際写真展開催

## 国際写真サロン北見移動展

全日本写真連盟北見支部

○日時 9月4日(火)～9日(日)

○会場 北網圏北見文化センター  
美術展示室

オホーツク管内で初の国際写真展の「国際写真サロン」は、戦争で中断したが戦後再開され、78回目を迎える。世界でも有数の歴史を持つ写真コンテストとなり、約40カ国から1万点近い応募があり入賞・入選作品約百三十点を展示する。最終日には、同展審査委員の佐藤時啓氏(東京藝術大



審査員特別賞(Travel) Rony

Barua



学美術学部教授、写真家)のギャラリートークを行う。